

10. 農家の燃料器具と燃料の使用実態について

農林省農業技術研究所 阿部 和子

1. 農家の燃焼器具及びその燃料の使用状態は、炊事空間構成並びに炊事作業における重要な要素であり、生活上、経営上の諸条件と関連している。あるいはまた、生活上・経営上の諸条件がこれを規定しうるものとも考えられる。このような観点から、最近における新しい燃焼器具の普及浸透とあいまって、使用燃焼器具の種類と組合せ、使用燃料についての実態と変化を明らかにしようとして試みた。

2. 農家の燃焼器具は使用燃料との関係が深い上、燃料自体の自給度が高く農業経営形態と可成りの相関をもつことから、調査地を水田地帯に限定し、埼玉県下水田率60%以上の三地帯において、アンケート表の配布及びききとりによる部落階級調査を行った。

3. 農家の使用する燃焼器具の種類は3種類であったが、石油コンロ・プロパンガス等の普及により4～6種類に増加した。増加したもののうち、もみかまどは経営規模の大きい層から、石油コンロ・プロパンガス等は経営規模の小さい層から購入がすすんでいる。これは、よぎなくされた燃料の自給割合のしからしめるものである。燃焼器具の使用区分、代替性をみると、新しい器具はいろいろと代替して加熱作業の一部分をうけもつ。新しい器具が加熱上広範囲に機能を発揮するのは兼業層からである。